

# むらやま若者よい！よい！通信 VOL.2

村山地域全体で県内定着・回帰に向けた機運の醸成を図るために設置された「オールむらやま若者定着推進会議」を構成する村山総合支庁と関係団体・機関等 41 団体の取組みをお知らせする通信です。

## 高校生のみなさん

皆さんは、自分が働く場所のイメージはありますか。  
どこに住み、どんな仕事に就くかは、  
とても大切な選択です。  
村山地域で働き、暮らすことを、  
将来の選択肢のひとつとしてぜひ考えてみてください。



「山形はものづくり産業が盛ん」とは、よく耳にしますが、実際どんな企業があるの、と聞かれても、すぐに名前が出てこない、よく知らない・・・。  
そんなことはありませんか？  
この通信は、村山地域のものづくり企業について知っていただきたく作成しました。

## 村山地域の産業と企業の特徴を知ろう

### ◆山形県の産業ランキング

	事業所数が多い	従事者数が多い	付加価値額が多い
1位	卸売業・小売業 13,859 (26.5%)	製造業 108,772 (23.9%)	製造業 5,340億 (28.6%)
2位	宿泊業・飲食サービス業 6,269 (12.0%)	卸売業・小売業 90,642 (19.9%)	卸売業・小売業 3,787億 (20.3%)
3位	建設業 6,080 (11.6%)	医療・福祉 61,732 (13.5%)	医療・福祉 2,218億 (11.9%)

※『平成 28 年経済センサス活動調査』

山形県は、「製造業」で働く方が多く、地域の経済を支えています。  
東京など首都圏と比較すれば規模は小さいですが、首都圏にも負けない企業がたくさんあるんです。



でも、普段の生活で目にするこって、ない気がするわ。  
商品名やコマーシャルも知らないし・・・。

「知らない」ことには理由があるんだよ！



村山地域の企業は「BtoB」企業が多いことが特徴のひとつです。

BtoBとは“Business to Business”の略で、法人（企業）を相手に取引することを指します。  
普段の仕事の相手が企業なので、消費者との直接的な接点や、製品やコマーシャルを見かけることがあまりないため、「知らない」になってしまうことが理由です。

BtoBとよく比較の対象となるのが、BtoC（Business to Consumer）です。  
BtoC企業は私たち消費者向けにサービスや商品を提供しています。  
私たちが普段、お店で購入している商品の販売元や、コマーシャルなどを通して知っている企業の多くはBtoC企業ということになります。

# 村山地域の「キラリと光る企業」

独自の製品・サービスや技術によって、日本「トップクラス」のシェアをもつ企業や、優れた業績により国や県から表彰を受けた企業などを紹介します。

これらは、山形大学の大学生が企業を訪問し取材したものです。

この他にも大学生の目線から見た企業の魅力を、facebookで発信しています。

**「キラリと光る山形」**で検索して、村山のキラリと光る企業をぜひご覧ください。



村山地域の企業は働きやすさにも挑戦しています！

## 世界一の製品！ 《株式会社トプコン山形》（山形市）

トプコン山形は、「光学」と呼ばれる光の性質を利用した技術を得意とする企業です。レンズやプリズムの技術を応用した医療機器や測量機器の生産を行っています。

医療機器分野では、主に眼科で使用される検査・診断機器を生産しています。中でも、眼球の奥を三次元の断層図で確認できる「三次元眼底像撮影装置（3D-OCT）」を世界で初めて製品化し、現在では世界シェアトップです。



いま話題になっている「働き方改革」・・・。

通常は新たな制度や仕組みを作って、残業時間の削減や

若手の離職防止を図ることが一般的ですが、トプコン山形は違います。

職場の雰囲気づくりにより、残業は平均1日1時間未満で、その日の自分の仕事を終えたら、さっと帰るのが普通だそうです。自然にワークライフバランスを実現できる雰囲気があるそうです。このほかにも有給休暇もしっかりと確保できることや、離職がほとんどないことも特徴です。

また、社内を見学したときに、創立87周年記念のランチパーティーイベントが企画されていました。職場全体のあたたかい雰囲気が、大いに感じられました。

## 山形で世界と戦う！ 《株式会社片桐製作所》（上山市）

片桐製作所は、東北初の冷間鍛造という手法を導入し、金属から様々な部品を作ります。

製品の多くは自動車部品で、走る・止まる・曲がるという車の基本機能のうち、走る・止まるための重要保安部品に多く使われています。



自動車部品の業界では、いかに安全で安く、大量に作れるかが今後世界と戦うために必要とされますが、片桐製作所は安易に海外へ拠点を移動させるつもりはないそうです。

国内であっても、技術によって海外と戦えるからです。例えば多段式フォーマーという機械は6つの鍛造工程を行うことができるので、素材をセットするだけで機械から完成品が流れてきます。とても高価な機械ですが、海外とも戦えるコストにできます。

また、海外に出てしまうと結果的に雇用が減り、地元へ貢献できなくなると考えています。製造、販売をするだけでなく、地元で開催されたイベントに参加するなど地域とも交流を図り、地域へ貢献しながら世界と戦う企業でもあるのです。

# 「働く」 × 「ものづくり企業」 の魅力



## 幅広い活躍が期待されています

つねに技術革新を怠らず、前進しなければならず責任の重さも計り知れませんが、社会における自社製品の重要性や役割を感じることができます。

## 社会貢献度の大きさが魅力です

インフラをはじめ、社会成長に欠かせない製品を生み出しています。たとえ一般消費者からの目からは見えにくい所であっても、「自社製品がなくてはなりたくない」縁の下の力持ちの役割のビジネスを展開しています。

## ブレーキ部品で日本一！！ 《ナブテスコオートモーティブ株式会社山形工場》（村山市）

トラックやバスなど商用車で使われているブレーキ機器のトップメーカーです。ブレーキ部品の「エアドライヤー」で70%、「ウェッジチャンバー」で80%と共に国内トップシェアを誇ります。

マザー工場である山形工場のほか、タイやインド、ドイツにも拠点があります。海外の拠点からは生産技術を学びにくる従業員がいるほど、山形工場は技術力が高い拠点です。

主な取引先である、日本の四大トラックメーカー「いすゞ自動車」、「日野自動車」、「三菱ふそうトラック・バス」、「UDトラックス」をはじめ、日本の主要な自動車メーカーと取引があります。

働き方も時代に合わせ変化しています。

「オール定時」という日が設けられており、その日は全員が定時に帰ります。オール定時の日以外も基本的には残業が少なく、職場によっては6時半を過ぎるころには2、3人しか会社に残っていないとか…。

人材育成の制度も充実しています。世界でも活躍するため会社で英会話教室を開いて社員の英語力を鍛えることも行っています。

また、10日以上の有休取得率はほぼ100%有休がとりやすい環境が整っています。これは、芋煮会やボーリング大会など社員同士のつながりが密になるようなイベントのおかげもあるかもしれませんね。



日本の製造業  
の最先端

## 世界中で使われています！ 《株式会社ニクニアサヒ》（朝日町）

ニクニアサヒは、世界中に展開する産業用ポンプの一大製造拠点です。あまり形を見ることの少ない縁の下の力持ち的な機械ですが、ポンプは生活のあらゆるところで活躍しています。

発電所で使われる重さ3トンもの巨大ポンプから、お酒などの飲料工場、スーパーコンピュータを冷却するためのポンプなど、大きなものから小さなものまで、多くの人の生活に関わる大切な製品を作っています！！

ニクニアサヒでは高い技術力と開発力で、優れた製品を作っています。そのように製品を作る上で大事なものは、やはり技術者の方々です。

技能士の育成に力を入れており、技能検定の勉強のため、協力体制もあります。また、資格をとって能力を発揮することができれば、給料に反映されるため、専門的知識が豊富な従業員が育っています。

ハード面だけではなく、ソフト面でも素晴らしい会社だと感じました。

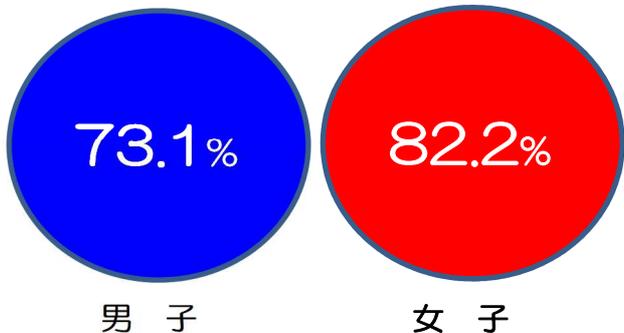


**保護者の皆様へ** 卒業後はどこで働く？どこに住む？ 

**親子で考えてみてください。就職のこと。**

将来を考えると重要になってくるのが、「どういった仕事をするか」「どこで暮らすか」…。  
具体的には、大学進学後…とお考えの方も、時間のある今だからこそ、親子で話し合ってみませんか。

就職のこと、親に相談しましたか？



地元就職を希望する人の割合

**49.8%**

※卒業した高校の所在地と働きたい都道府県の一致回答割合

※2020 卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査  
(全国の地元外に進学した男女による回答)

この情報誌は、村山地域の若者定着へ向けた情報発信を行い、地域の企業の魅力や就業環境の魅力を伝え、地元で働くことのイメージを持っていただくために作成したものです。

村山地域では、若者の定着推進を産業、教育、金融、労働、行政各界が一丸となり、「オール村山」として取り組んでいます。

保護者の皆様にも、是非ご覧いただき、お子様と将来を話す一助となれば幸いです。



△△ オールむらやま若者定着推進会議 構成団体の取組み △△

【山形市】

**保護者のための就職ガイダンス**

(12月4日 山形ビックウイング)

保護者の方に最新の就職活動動向と地元で働くことの魅力等について知っていただき、お子様の進路選択の助言に有効活用いただくことを目的にセミナーを開催しました。

当日は総勢60名の皆様よりお越しいただき、有名講師・常見陽平氏によるセミナー及び市内企業の採用担当者によるパネルディスカッションを実施し、いずれもご好評をいただいております。



【山形労働局委託：山形県若者就職支援センター】

**高校2年生とその保護者を対象としたセミナー**

就職希望者向けには「しごとセミナー」として、就職活動の流れや仕事の選び方を、進学希望者には、「高校2年生のためのちょっと未来のはなし」として進学後、地元就職を視野にいれたとき困らないよう、高校2年生の今からすべきことを学ぶセミナーを開催します。

【山形会場】山形テルサ  
1/27(月) 13:30~15:30  
【村山会場】県立村山産業高校  
1/30(木) 13:45~15:45



＝対象＝  
就職希望の  
高校2年生の生徒  
および  
その保護者  
参加無料

【山形県福祉人材センター】

**福祉の仕事職場見学バスツアー** (11月1日実施)

福祉の仕事職場見学ツアーを開催しました。1日に特別養護老人ホーム明幸園と県リハビリセンターを見学できる充実の見学ツアーで、若者を含む多くの方に参加いただきました。参加者にとって、実際に福祉の現場を見学することで福祉の仕事のイメージする絶好の機会となりました。



【ハローワークさがえ】

**HW さがえ就職面談会**

(10月29日 サハトベに花)  
49社の企業が参加し、169名の来場者が各企業等と面談を行いました。幅広い年代層の方が参加され、求人の説明や企業の魅力について熱心に耳を傾け、就職に向け積極的な自己PRを行う姿が各ブースで見られました。



【この情報紙に関する問い合わせ】

山形市鉄砲町2-19-68

山形県村山総合支庁地域産業経済課

TEL: 023-621-8443

発行：令和2年1月